

# 外国語（英語）

東 京 書 籍  
開 隆 堂 出 版  
三 省 堂  
教 育 出 版  
光 村 図 書 出 版  
啓 林 館

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目 (外国語 英語)

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍 (NEW HORIZON Elementary English Course)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞いて慣れ親しみ、その表現を使って友と話す活動、そして、読む・書く活動へと展開するように構成され、基礎的な技能を段階的に身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、主体的に考え、表現できるよう言語活動が設定されている。</li> <li>・ 自分や身近な事柄から、日本、世界とのつながり、SDGs に視野を広げ、他者や世界との関わりに着目できるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元が見開き4パート構成、各単元計8時間の8単元構成で、標準時間内で見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> <li>(2) 音声に慣れ親しむ活動から、新しい単語や表現に気づき、コミュニケーション活動の中でそれらを活用することで定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>(3) 見通しをもつ Our Goal、伝えたいことを考える Your Plan、会話や発表で気を付けたいことを考える Your Goal のスモールステップの単元構成で、主体的に学べるよう配慮されている。</li> <li>(4) 5年生は音声中心で、6年生で徐々に読む活動、書く活動が導入されている。その際、6年生では、メモを書き込む欄や会話文を書き込む4線付きの欄が設けられ、ワークシートの代わりに教科書が使用できるよう工夫されている。</li> <li>(5) 絵や写真が鮮明であり、図も効果的に取り入れられている。別冊絵辞典には日本や世界の特色・名所を紹介するページもあり興味を高める工夫がされている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 5年生では「日本」、6年生では「世界」をテーマとし、SDGs など今日的な課題も題材となっており、児童の興味関心を引き視野を広げられる構成になっている。</li> <li>(2) 各単元「Enjoy Communication」に向かって、Step 1, 2で見通しを持ったり伝えたい内容を考えたりする流れになっている。その際、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、思考・判断し情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 伝えたいことを考え、表現例をもとに言語材料を選択して伝え合ったりペアやグループで発表したりするなど協働的な学習を通して自己表現の力が高まるよう配慮されている。</li> <li>(4) 発表や考えを伝え合う場面では、Tips として、活動を円滑に進めるためのアドバイスが示されており、主体性を促す工夫がなされている。</li> <li>(5) 写真やイラスト、映像が豊富で、語句や表現の意味、活動の内容を理解する手がかりにもなるよう工夫されている。</li> <li>(6) Starting out、Your Turn、Enjoy communication には、それぞれねらいとそれに応じた振り返りの記入欄が設けられており、指導と評価が一体化するよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元目標への見通しをもってスモールステップで学習を進められるよう工夫された単元構成である。</li> <li>・ 考えや分かったこと、例文や話した文を書くスペースが多く確保されている。</li> </ul>

## 種目（外国語 英語）

採択基準	発行者名 開隆堂出版（Junior Sunshine）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語の基礎的な技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ コミュニケーションに必要なスキルを考える活動が設定されており、児童は目的や場面、状況などに応じて工夫して表現できるように配慮されている。</li> <li>・ 各单元では異文化情報が取り上げられ、外国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童にとって身近な話題を適切な時数で扱い、児童が負担なく学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(2) 平易なインプットから無理なくアウトプットにつながる活動が設定され、聞くこと・話すことに重点を置きながら、段階的に読むこと・書くことを学んでいけるよう单元構成が組まれている。</li> <li>(3) 学習意欲を高めるためにカテゴリーゲームやポイントゲームなどのゲーム活動を取り入れ、対話的な活動につなげている。</li> <li>(4) 各单元では、聞くことから始まり、簡単なやり取りを経て、発表やさらなるやり取りへと進み、基本的な表現が定着するよう段階的なコミュニケーション活動が位置付けられている。また、見開きごとに学習のめあてが明示されており、めあてをもって取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(5) 写真や図、文字が鮮明である。デジタルコンテンツも、学ぶ目的にあわせ、自分のペースで学習を進められるよう工夫されている。また、各学年に別冊で絵辞典がある。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各 Lesson の題材内容は、クラス内での自己紹介から学校や地域、国内、国外へと学年や単元が進むにつれて視点が広がるように配列されている。</li> <li>(2) 言語材料は、児童にとって身近な語彙や表現を中心に配列されており、獲得した知識や技能を実際のコミュニケーションで反復使用することで、定着を促すことができるよう配慮されている。</li> <li>(3) 児童が自身の興味や関心、経験などを発信しする具体的な言語活動を通じて、友と交流しながら、基礎的な英語表現にふれていくことができるよう配慮されている。</li> <li>(4) コミュニケーションを通じて言語の意味や働きを体験的に理解することができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 言語活動を行う場面で、表現ややり取り・発表の方法がイラストや吹き出しでわかりやすく示されており、スムーズに活動に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(6) 巻末の CAN-DO チェックでは、3 観点に対応した振り返りができるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を使いながら学べるよう、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が豊富に用意されており、イラストや吹き出し等により活動のイメージももてるよう工夫されている。</li> <li>・ 全体的に写真や図、文字が鮮明で明るい配色である。特に、文字の書体や太さ、大きさは、入門期の児童が読んだり書いたりする際にわかりやすいよう配慮されている。</li> </ul>

種目（外国語 英語）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>三省堂（CROWN Jr.）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間3Unit からなり、各 Unit は Hop、Step、Jump で構成され、Unit の目標へ見通しをもって段階的に学習できるように工夫されている。</li> <li>・ 日常の児童の活動に関連した題材があり、興味を喚起しながら教科等横断的な学習を進めることができるように工夫されている。</li> <li>・ 巻末に「英語でこんなことができた!」、別冊絵辞典に「CAN-DO」のページがあり、年間を通しての学習内容や毎時間のめあてがわかりやすく示され、児童が主体的に学べるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 言語材料は、アウトプットの前に十分なインプットができ、平易なものから段階的に配列されるなど分量に配慮がある。</li> <li>(2) 聞くことから話すことへ、また読むことから書くことへ段階を踏んで十分に練習をしてから移行できるように工夫されている。</li> <li>(3) コミュニケーションの目的、場面、状況を明確にした言語活動が豊富で、相手と主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 見通しをもったり気付きを促したりするイラストや吹き出し等があり、児童が意欲をもって活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(5) 二次元コードも多く配置されており、児童の興味関心を高めたり自分のペースで取り組んだりできるように工夫されている。また、別冊絵辞典（2年間で1冊）がある。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目次に、単元目標と授業のゴールが明示されている。複数の単元ごとに設けられている「JUNMP」で、既習内容を復習しながら表現活動を行う構成となっている。</li> <li>(2) 聞くことを通して新出表現に触れ、チャンツなどによる口頭練習の後に話す活動、続いて読む活動や書く活動へとつながっており、学習した表現を活用できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 対話で使う表現を児童が選択し考えながら学習することで、主体的に活動できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 言語の使用場面や言語の働きがわかるように吹き出しで既習表現の例示があり、コミュニケーション活動が豊かになるよう配慮されている。</li> <li>(5) 写真やイラストは英語の意味を推測できるように関連付けられている。また、モデル動画があり、やり取りや発表のイメージをもちやすいよう工夫されている。</li> <li>(6) 二次元コードからワークシート、Small Talk の発話例や活動手順などを見ることができ容易に活用できるよう工夫されている。「Jump」では発表のポイントも示され、児童がめあてをもって取り組めるよう配慮されている。また、別冊絵辞典の巻末には CAN-DO リストがあり、学習の見通しをもったり自己評価したりできるように工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年が3つの Unit から成り、各 Unit に言語活動の目標が設定されている。その目標に向かって、小さなゴールを達成しながら語句や表現を身に付けていく構成である。</li> <li>・ 各 Unit の見開きのレイアウトが一定であり、色使いや囲み・書く活動の見本のフォントや配置の工夫など、ユニバーサルデザインの視点での配慮が多く見られる。</li> </ul>

種目（外国語 英語）

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>教育出版（ONE WORLD Smiles）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞くこと中心の活動から始まり、簡単なやり取りを通して表現に慣れ、段階的に読むこと・書くこと、話すこと（発表）への学習に移行し、基礎的な技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 単元末に3観点に対応した振り返り表の活用により、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・ 学校生活に合った活動やテーマ、他教科・領域の学習とつながりのある内容が取り上げられ、興味をもって取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 外国語活動から円滑に移行できるよう文字や説明を精選し、文字とその音に徐々に慣れていかれるよう配慮されている。</li> <li>(2) 平易なインプットからアウトプットへ無理なく進む言語活動が設定され、聞くこと・話すことを中心に、段階的に読むこと・書くことを学んでいく単元構成が組まれている。</li> <li>(3) 単元のテーマに沿って、思考を促したり考えを整理したりする「Thinkコーナー」が設けられており、対話的な学習を促す工夫がなされている。</li> <li>(4) 各単元が、聞くことから始まり、簡単なやり取りを経て発表へ進み、基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動へと段階的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(5) 配色や写真も鮮明で、挿し絵もコミュニケーションの場面や状況がよくわかるよう工夫されている。また、イラストや写真には、身近な事柄、世界の様子、異文化、多様な人々の生き生きとした姿などが盛り込まれており、多様性を尊重する学びにつながるよう配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自分、学校、地域、国内、国外へと単元が進むにつれて視点が広がっていくよう題材が配列されている。</li> <li>(2) 児童にとって身近な語彙・表現を中心に言語材料が配列され、獲得した知識及び技能を実際のコミュニケーションの中で繰り返し使用し、定着を促すことができるよう配慮されている。</li> <li>(3) 児童が自身の興味・関心、経験などをもとに言語活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(4) 特有の表現が使われる場面が設定され、言語の意味や働きを体験的に理解できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 巻末に、絵カード、自己表現のためのワークシート、活動用シールがあり、目的に向かって表現意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各単元末に、Review や評価の3観点に対応した振り返り表があり、学習内容や評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話す内容やコミュニケーションについての気付きを促し深めるコーナーがあり、互いに尊重し合い、よりよい関わりを意識して取り組めるよう配慮されている。</li> <li>・ 6年後半から、文構造への気付きを促す活動や小学校の学習のまとめとして取り組む活動が位置付けられている。</li> </ul>

(種目：外国語 英語)

発行者名 採択基準	光村図書出版 (Here We Go!)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 聞いたり話したりする音声中心の学習から、読む・書く活動に段階的に取り組むことで、基礎的な技能を身に付けられるよう工夫されている。</li><li>・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて主体的に表現できるよう工夫された活動が多く設定されている。</li><li>・ 自文化や異文化について扱う単元があり、自国や他国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう工夫されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 内容が発達段階に即しており、分量も配慮されている。</li><li>(2) 各 Unit の前半に、目的・場面・状況が明確でストーリー性のあるアニメーションを視聴する活動が設定されており、個性豊かな登場人物や内容に興味をもって聞いたり、その単元で学習する表現に気付いたりできるよう工夫されている。</li><li>(3) 十分に聞いたり話したりし慣れ親しんでから、文字、単語、語句、文を読んだり書いたりする活動へと段階を踏んで学ぶことができるよう配慮されている。</li><li>(4) 巻末に「All About ME」という一年間の学びの記録となるシートがついている。各単元の終末に記入していくことで、自分の学びの足跡が可視化できるよう工夫されている。</li><li>(5) 写真やイラストが多く使われており、活動の内容をイメージしやすくなるよう工夫されている。また、各学年に別冊絵辞典があり、単語や表現を探したり 4 線に書き写したりする際に役立つよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 5 学年では自分、他者、地域、6 学年では日本、世界、将来がテーマとなっている。また、両学年とも、教科等横断的な内容、キャリア教育や防災教育、SDGs の視点が盛り込まれており、様々な題材を通して、視野を広げることができるよう工夫されている。</li><li>(2) 平易なものから段階的に配列されている。</li><li>(3) イラストや吹き出しを用いて既習表現の活用を促す「Plus One」や「Response」、該当の活動において他に使えるような表現例を見ることができる二次元コードがあり、思考力・判断力・表現力を高め、コミュニケーションが豊かになるよう工夫されている。</li><li>(4) 各学年 3 か所に「まとめ You can do it!」というやり取りや発表の活動が設定されており、既習表現の活用を促し、思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫されている。</li><li>(5) 写真やイラストから活動の内容が推測しやすく、聞き取る活動では場面をはっきり見分けられる写真が多く用いられている。</li><li>(6) 巻頭に「5 (6) 年生でできるようになること」が到達目標 (CAN-DO) として明記され、自己評価しながら達成度を確認できるよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2 年間に渡って「ストーリー」が展開され、児童が、個性豊かな登場人物に興味をもって言語活動に取り組めるよう工夫されている。</li><li>・ 既習表現の活用場面が随所に設定されており、各 Unit の目標に向かい言語活動が充実するよう工夫されている。</li></ul>

種目 (外国語 英語)

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">啓林館 (Blue Sky elementary)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞くこと・話すことの音声中心の学習から、段階を踏んで書くこと・読むことへと文字の学習に取り組むことで、基礎的な技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 単元最終のコミュニケーションを行うにあたって、どのようなことを工夫すればよいか考える活動が位置付けられており、目的や場面、状況などに応じて工夫して表現できるよう配慮されている。</li> <li>・ 各単元に異文化情報として「Friends around the World」が位置付けられており、外国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 年間配当時数が余裕をもって設定されている。必要に応じて、練習活動や調べ学習などの個に応じた活動を取り入れられるように配慮されている。</li> <li>(2) 児童が自分のことについて話す活動が設定されており、練習活動に偏った指導にならないよう配慮されている。</li> <li>(3) 映像を用いてコミュニケーションに大切なことを考える活動が設定されており、主体的、対話的な学習を促す工夫がなされている。</li> <li>(4) 各単元の最後に文字と音の関係が扱われており、慣れ親しんだ音声を基に読んだり書いたりする学習を進めていくことができるよう配慮されている。</li> <li>(5) どの単元もゴールに向けての学習活動の構成が同じで、紙面上も決まった位置に掲載されており、児童が迷わずに活動できるよう配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 英語を使う場面を把握し、聞いたり使ったりして慣れ親しみ、話す活動を行う、そして、読むこと・書くことの活動を行うという単元構成となっており、5領域の力をバランスよく育成する工夫がされている。</li> <li>(2) 自分の紹介、日本の紹介、自分の町や地域の紹介など似た表現を使う単元がまとめられており、言語材料の配列や内容の関連付けに工夫がなされている。</li> <li>(3) 各単元に友と話す活動が位置付けられ、伝えたい内容や言葉を選んで活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(4) 自分のことについて伝え合う活動が多く盛り込まれ、目的や場面、状況などに応じてコミュニケーションが図れるよう工夫されている。</li> <li>(5) 単元のねらいに基づいた活動の写真、映像、発表資料などが掲載されており、活動のイメージをもちやすく、各自でスムーズに練習ができるよう工夫されている。</li> <li>(6) 巻末に CAN-DO リストが位置付けられており、各単元の評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元や各 Step に提示されているめあてや巻末の Can Do List、「Watch the Scene」(映像)により、学びの見通しがもてるよう工夫されている。</li> <li>・ 思考力、判断力、表現力等を育成するために、どのような工夫をして伝えたらよいかを考える活動が多く設定されている。</li> </ul>